

【今日の説教から】

「神がわたしを悩みの地で豊かにせられた」。これは直訳すれば「神様は貧しくみじめな土地で私に真実であられた(実を私に結んでくださった)」となります。ついについにヨセフの苦労は報われました。この栄光のために彼はここに運ばれていたのだという神様の解き証し、種明かしが実現しました。

エジプトの王パロは、「聞くところによると、あなたは夢を聞いて、解き明かしができるそうだ」と言いましたが、

ヨセフは答えてこう言いました。「いいえ、わたしではありません。神がパロに平安をお告げになりましょう」。

神様は平安をお告げになられるお方です。神様は幸せと健康、人生の完成をもたらしてくださいのお方です。私たちの願いに応え、応答し、そうしてくださるお方であることを証ししてくださいます。それは人がもたらすことが出来るものではありません。

「さとく、かつ賢い人」とは誰でしょうか。

「われわれは神の靈をもつこのような人を、ほかに見いだし得ようか」…パロがいみじくも言ったように、それは神の靈に頼るもの。神様を恐れ、仰ぎ、信頼し、従う者にこそふさわしいのです。

神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。(ローマ 8:28)

皆様おはようございます。またも雪のちらつきがあり、寒の戻りを感じますが、春の近づきを感じるこの頃です。お元気にお過ごしでしたか。

さて先週の水曜日から受難節に入っております。今年のイースターは4月20日です。

私たちは創世記を読み進めております。ここから出エジプト記に入り、過越の子羊の記事を読んでからイエス様の十字架の記事へと進みたいと願っております。

いよいよヨセフ物語も一つのピークを迎えるました。彼の苦労が実り、栄光を受ける瞬間がやってきました。彼はエジプトの大國を、世界を飢饉による滅びの危機から救い出すのです。

41:1 二年の後パロは夢を見た。夢に、彼はナイル川のほとりに立っていた。

41:2 すると、その川から美しい、肥えた七頭の雌牛が上がって来て葦を食っていた。

41:3 その後、また醜い、やせ細った他の七頭の雌牛が川から上がって来て、川の岸にいた雌牛のそばに立ち、

41:4 その醜い、やせ細った雌牛が、あの美しい、肥えた七頭の雌牛を食いつくした。ここ

でパロは目が覚めた。

41:5 彼はまた眠って、再び夢を見た。夢に、一本の茎に太った良い七つの穂が出てきた。

41:6 その後また、やせて、東風に焼けた七つの穂が出てきて、

41:7 そのやせた穂が、あの太って実った七つの穂をのみつくした。ここでパロは目が覚めたが、それは夢であった。

41:8 朝になって、パロは心が騒ぎ、人をつかわして、エジプトのすべての魔術師とすべての知者とを呼び寄せ、彼らに夢を告げたが、これをパロに解き明かしうる者がなかった。

大国エジプトのすべての魔術師、すべての知者をもっても、王の謎を解き明かすことはできませんでした。

パロは心が騒ぎました。何度も不可解な意味深な夢を見て、気が気で仕方ありませんでした。しかしその心の騒ぎを安心させることのできる者はだれ一人としていませんでした。神さまこそが私たちの言いようもない深い心の胸騒ぎ、不安、不可解で悶々とする心を導き、解決することが出来るのは、私たちに知るべきことを知らせようとして働く神様ご自身なのです。

41:9 そのとき給仕役の長はパロに告げて言った、「わたしはきょう、自分のあやまちを思い出しました。

41:10 かつてパロがしもべらに向かって憤り、わたしと料理役の長とを侍衛長の家の監禁所にお入れになった時、

41:11 わたしも彼も一夜のうちに夢を見、それぞれ意味のある夢を見ましたが、

41:12 そこに侍衛長のしもべで、ひとりの若いヘブルびとがわれわれと共にいたので、彼に話したところ、彼はわれわれの夢を解き明かし、その夢によって、それぞれ解き明かしをしました。

41:13 そして彼が解き明かしたとおりになって、パロはわたしを職に返し、彼を木に掛けられました」。

41:14 そこでパロは人をつかわしてヨセフを呼んだ。人々は急いで彼を地下の獄屋から出した。ヨセフは、ひげをそり、着物を着替えてパロのもとに行つた。

41:15 パロはヨセフに言った、「わたしは夢を見たが、これを解き明かす者がない。聞くところによると、あなたは夢を聞いて、解き明かしができるそうだ」。

41:16 ヨセフはパロに答えて言った、「いいえ、わたしではありません。神がパロに平安をお告げになりましょう」。

「いいえ、わたしではありません。神がパロに平安をお告げになりましょう」

ここにヨセフの信仰が現れています。彼は自分が置かれている悲惨さからの解放に急ぐばかりに自分の功名心に進むのではなくて、ひたすらに神様を信じる生き方に生き続けていました。ヨセフは、自分の今ある場所がどんなに不本意なる場所であるとしても、神様に疑いを持ったり、恨んだりしませんでした。彼はそのような境遇でも、すべてのことを司っているのは人間である自分ではなくて神様であることを告白していました。

「あなたは夢を聞いて、解き明かしができるそうだ」。

「いいえ、わたしではありません。神がパロに平安をお告げになりましょう」

私たちもまた、夢の解き明かしをすることが出来ません。解き明かしは神様のなさることです。私たちは、人生に起こることを知り、自分で右に、左に自分の人生を操縦したいと思いますが、私たちが出来る賢い選択は、危なっかしい私たち自身の手による操縦を離れて、いつくしみ深い神様のお導きに委ねることなのです。それは私たちが我を張らずに降参して神様の手に任せることなのです。

「いいえ、わたしではありません。神がパロに平安をお告げになりましょう」

「神がパロに平安をお告げにな」る。

神様は答えてお告げになられるお方です。私たちが生きる意味が分からず、壁にぶつかりもがき苦しみ叫ぶとき、神様に助け手と叫ぶとき、神様は私たちに応えてお告げをくださいます。

のことこのこと、神様の御手の中にあること。苦しみでさえ、神様は愛であるという事に矛盾することではありません。神様は私たちを愛しているという事を、どんなことがあってもみじんも疑うべきではありません。

ローマ 5:1 このように、わたしたちは、信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストにより、神に対して平和を得ている。

5:2 わたしたちは、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあずかる希望をもって喜んでいる。

5:3 それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、

5:4 忍耐は鍊達を生み出し、鍊達は希望を生み出すことを、知っているからである。

5:5 そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。

ヘブル 12:5 また子たちに対するように、あなたがたに語られたこの勧めの言葉を忘れない

る、／「わたしの子よ、／主の訓練を軽んじてはいけない。主に責められるとき、弱り果ててはならない。

12:6 主は愛する者を訓練し、／受けいれるすべての子を、／むち打たれるのである」。

12:7 あなたがたは訓練として耐え忍びなさい。神はあなたがたを、子として取り扱っておられるのである。いったい、父に訓練されない子があるだろうか。

12:8 だれでも受ける訓練が、あなたがたに与えられないとすれば、それこそ、あなたがたは私生子であって、ほんとうの子ではない。

12:9 その上、肉親の父はわたしたちを訓練するのに、なお彼をうやまうとすれば、なおさら、わたしたちは、たましいの父に服従して、真に生きるべきではないか。

12:10 肉親の父は、しばらくの間、自分の考えに従って訓練を与えるが、たましいの父は、わたしたちの益のため、そのきよさにあづからせるために、そうされるのである。

12:11 すべての訓練は、当座は、喜ばしいものとは思われず、むしろ悲しいものと思われる。しかし後になれば、それによって鍛えられる者に、平安な義の実を結ばせるようになる。

8:28 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

「神がパロに平安をお告げになる。

神様は平安と幸せ、健康を与え、完成を与えるお方です。私たちの人生を美しく完成へとお導きになられるお方です。それが神様です。神様は私たちの祈りに応答してご自分のわざを現し、神様の生きて働く証を私たちに見せてくださるお方なのです。

そしてパロは自分が見た二つの夢をヨセフに語ります。そしてヨセフは答えます。

41:25 ヨセフはパロに言った、「パロの夢は一つです。神がこれからしようとするなどをパロに示されたのです。

41:26 七頭の良い雌牛は七年です。七つの良い穂も七年で、夢は一つです。

41:27 あとに續いて、上がってきた七頭のやせた醜い雌牛は七年で、東風に焼けた実の入らない七つの穂は七年のききんです。

41:28 わたしがパロに申し上げたように、神がこれからしようとするなどをパロに示されたのです。

41:29 エジプト全国に七年の大豊作があり、

41:30 その後七年のききんが起り、その豊作はみなエジプトの国で忘れられて、そのききんは国を滅ぼすでしょう。

41:31 後に来るそのききんが、非常に激しいから、その豊作は国のうちで記憶されなくな

るでしょう。

41:32 パロが二度重ねて夢を見られたのは、この事が神によって定められ、神がすみやかにこれをされるからです。

41:33 それゆえパロは今、さとく、かつ賢い人を尋ね出してエジプトの国を治めさせなさい。

41:34 パロはこうして国中に監督を置き、その七年の豊作のうちに、エジプトの国の産物の五分の一を取り、

41:35 続いて来る良い年々のすべての食糧を彼らに集めさせ、穀物を食糧として、パロの手で町々にたくわえ守らせなさい。

41:36 こうすれば食糧は、エジプトの国に臨む七年のききんに備えて、この国のためにたくわえとなり、この国はききんによって滅びることがないでしょう」。

41:37 この事はパロとそのすべての家来たちの目にかなった。

私たちの神様は天と地とを創造されたお方、唯一の神様です。私たちはどの人種や宗教や文化の中に分け入ったとしても、何も恐れることなく、自分がよそ者であるように恥じ入る必要もありません。

41:37 この事はパロとそのすべての家来たちの目にかなった。

41:38 そこでパロは家来たちに言った、「われわれは神の靈をもつこのような人を、ほかに見いだし得ようか」。

41:39 またパロはヨセフに言った、「神がこれを皆あなたに示された。あなたのようにさとく賢い者はない。

神の靈によって生きる。遣わされたイエス様を信じて救い主、羊飼い、導き手として聞き、従い生きる時、私たちもまた靈によって生かされています。それは聰く賢く生きる道です。神様の指し示される祝福の道に人はどうやって入ることが出来るでしょうか。それは神様の御言葉に従う生き方です。

41:40 あなたはわたしの家を治めてください。わたしの民はみなあなたの言葉に従うでしょう。わたしはただ王の位でだけあなたにまさる」。

41:41 パロは更にヨセフに言った、「わたしはあなたをエジプト全国のつかさとする」。

41:42 そしてパロは指輪を手からはずして、ヨセフの手にはめ、亜麻布の衣服を着せ、金の鎖をくびにかけ、

41:43 自分の第二の車に彼を乗せ、「ひざまずけ」とその前に呼ばわらせ、こうして彼をエジプト全国のつかさとした。

王の王、主の主を信じ、従う生き方こそ、私たちの知りうる最善の道です。それはどんなに大きい国の権勢を超える生き方です。

41:46 ヨセフがエジプトの王パロの前に立った時は三十歳であった。ヨセフはパロの前を出て、エジプト全国をあまねく巡った。

41:47 さて七年の豊作のうちに地は豊かに物を産した。

41:48 そこでヨセフはエジプトの国にできたその七年間の食糧をことごとく集め、その食糧を町々に納めさせた。すなわち町の周囲にある畠の食糧をその町の中に納めさせた。

41:49 ヨセフは穀物を海の砂のように、非常に多くたくわえ、量りきれなくなったので、ついに量ることをやめた。

「測りきれなくなった」。直訳すれば計測する数字が無くなった。

億、兆、京…私たちはさらにさらに大きい桁の数字を持っていますが、その当時にエジプトの数学をもってしても数えきれない、それにあたる桁がないまでにおびただしい、天文学的な数字がたたき出されたという事なのです。ここにも神様は空の星、海の砂のようなおびただしい祝福をお導きになられました。神様は、そういうお方です。神様はおびただしい祝福を司られるお方です。

41:50 ききんの年の来る前にヨセフにふたりの子が生れた。これらはオンの祭司ポテペラの娘アセナテが産んだのである。

41:51 ヨセフは長子の名をマナセと名づけて言った、「神がわたしにすべての苦難と父の家のすべての事を忘れさせられた」。

41:52 また次の子の名をエフライムと名づけて言った、「神がわたしを悩みの地で豊かにせられた」。

「神がわたしにすべての苦難と父の家のすべての事を忘れさせられた」

「神がわたしを悩みの地で豊かにせられた」

ヨセフはついに苦難の果てに感謝をささげることが出来ました。神様を信じ続け、神様を畏れ、自分自身でがむしゃらに生きるために降伏した彼の人生は素晴らしい結末へと至りました。

「神がわたしを悩みの地で豊かにせられた」

これは、直訳すれば「神様は貧しくみじめな土地で私に真実であられた(実を私に結んでく

ださった)」となります。ついについにヨセフの苦労は報われました。この栄光のために彼はここに運ばれていたのだという神様の解き証し、種明かしが実現しました。

私たちもまた、人生のトンネルで悩んでいるでしょうか。意味が分からないと心が騒ぎ立っているでしょうか。解き明かすのは神様、そして物事を最善へとお導きくださるのが愛の神様です。私たちもまた、信じて委ねて、待ち望み続けたいと願います。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。

「神がわたしを悩みの地で豊かにせられた」、「神は、悩みの地で、わたしに子孫を増やしてくださった」、「神は貧しくみじめな地で私に真実・忠実であられ、わたくしに実りを与えられた」との告白にヨセフをお導きくださいまして、本当にありがとうございます。神様が幸いを告げ、平安と健康と人生の完成を告げ、実現してくださいますから感謝いたします。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン